

# 日本留学手記

## ロー・スニョン

〈名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻 Ta 研 〒464-8602 名古屋市千種区不老町〉  
e-mail: soonyoung@nagoya-u.jp



私は博士課程大学院生として、日本で勉強しています。韓国から来て、新しい環境に慣れるまで、2-3カ月かかりました。最初は食事、環境や建物などすべてのものが新しく、見慣れなく、時に奇妙に感じられました。1年を経た今、日本はとても美しく、驚くべき国だと思っています。これから日本で多くの経験を積み、楽しい思い出を残したいです。

私は2011年9月末、韓国では残暑が猛威を振る初秋に博士課程留学生として日本にやって来ました。私の故郷韓国を後にし、期待で胸が膨らむ反面、不慣れな環境を迎えるという漠然とした恐怖、そして未知の世界に投げ入れられたような孤独感などを抱きつつ、私の留学生活は始まりました。以前日本には研究目的で短期間滞在したことがありましたが、今回は実際に住んで生活するので、多くの問題に直面するかもしれないと覚悟していました。言葉の問題だけでなく、表面上は見えない微妙な文化的差異もあり、知らない人だけの環境のなか、果たして耐えていけるか心配でした。しかし、ほぼ1年という長いようで短い間に大小多くの問題が過ぎ去り、ふと気づくといつのまにか留学生活を楽しく過ごしている自分がいました。また、以前は私とはかかわりが無いと感じていたような人々の中にも自分から自然に溶け込み、今はここが私の故郷であるかのように感じています。初めは萎縮していた心が自由になり、大きな自信を得ることができたように思います。いくら聞いても難しかった日本語が少しずつですが聴き取れるようになり、路上の看板の文字を読むことができたときの興奮を忘れることができせん。それでも私の日本語はまだまだ流暢ではないため、時には困り果てる状況に遭遇することもある

りますが、もう少し時間が経つとこのような状況も十分に克服することができるだろうと考えています。韓国では、日本料理と呼んで特別な食べ物として扱われていた食べ物を、ここでは普通の食事の一部として自然に接することができて非常に楽しいです。うどんにこんなにも多く種類があることを日本に来て初めて知り、非常に驚きました。このようにこの1年間の生活は、私の漠然とした日本に対する固定観念を変えるには十分でした。

何よりも私が感じた日本の素晴らしい点は、自分たちの伝統を大切に、そしてそれを育て上げていこうとしている人々の姿勢です。例えば、日本では女の子のためのひな祭りと男の子のための端午の節句があることを知りました。ひなまつりでは、子どもたちが親からひな人形をもらいますが、このひな人形には子どもの身代わりとなって病気や悪いことを持ち去って欲しい—つまり、子どもの健やかな成長を願う—という意味があると聞きました。ほかに、街の至る所に残る日本の伝統家屋、多くの種類の地酒、地域ごとにある独自の家紋などなど例を挙げればきりがありません。地域独自のプライドを守り保存する姿勢も素晴らしいと思います。日本の各地方には、お国自慢の美味しいものや見どころがあり、たいへん魅力

的 です。

日本は韓国と地理的に近接しており、長い時間お互いを見守ってきた隣国です。ですので、多くの歴史的な因果が過ぎていった中で、私たちはお互いの長所と短所を学び直した歴史があります。ここ最近では、両国の間での文化交流もたいへん盛んです。地理的にも近い日本は、もはや海の向こうであるとは思えないぐらい、私たち韓国の人々の生活の中にさまざまな影響を与えています。日本では、さまざまな場面で礼儀、礼節が深く重んじられます。ややもすると堅苦しく感じることもありましたが、その中には他人を思いやる心と、秩序を重んじる高い規範意識を見ることができました。この点は、私が日本での生活を送る中で心の奥底から感動したことであり、見習うべき点だと思います。

博士課程を修了するまで、あと2年余りとなりました。日本で四季を過ごした感慨はひとしおで、本当に日本は美しい国だと思います、今後私がどこで生活していくのかはわかりませんが、遠

い将来、過去の時間を振り返って見たときに、私の留学生活が美しい思い出の一つとして私の記憶の中に深く残っていることを願っています。

本原稿を日本語で執筆するにあたり、ティーチングアシスタントの藤井悠里さんにはたいへんお世話になりました。

### **My Experience in Japan**

**Soonyoung ROH**

*Ta Lab., Department of Physics, Graduate School of Science, Nagoya University*

Abstract: I am studying aboard as a doctoral student in Japan. It took a few month acclimating to the new surroundings effortlessly. At first, everything appeared new, unfamiliar, and strange: the food, the surroundings, and the buildings. Now, one year later, I realized that Japan is a very beautiful and an amazing country. I hope that I want to have many good memories and experiences in Japan.